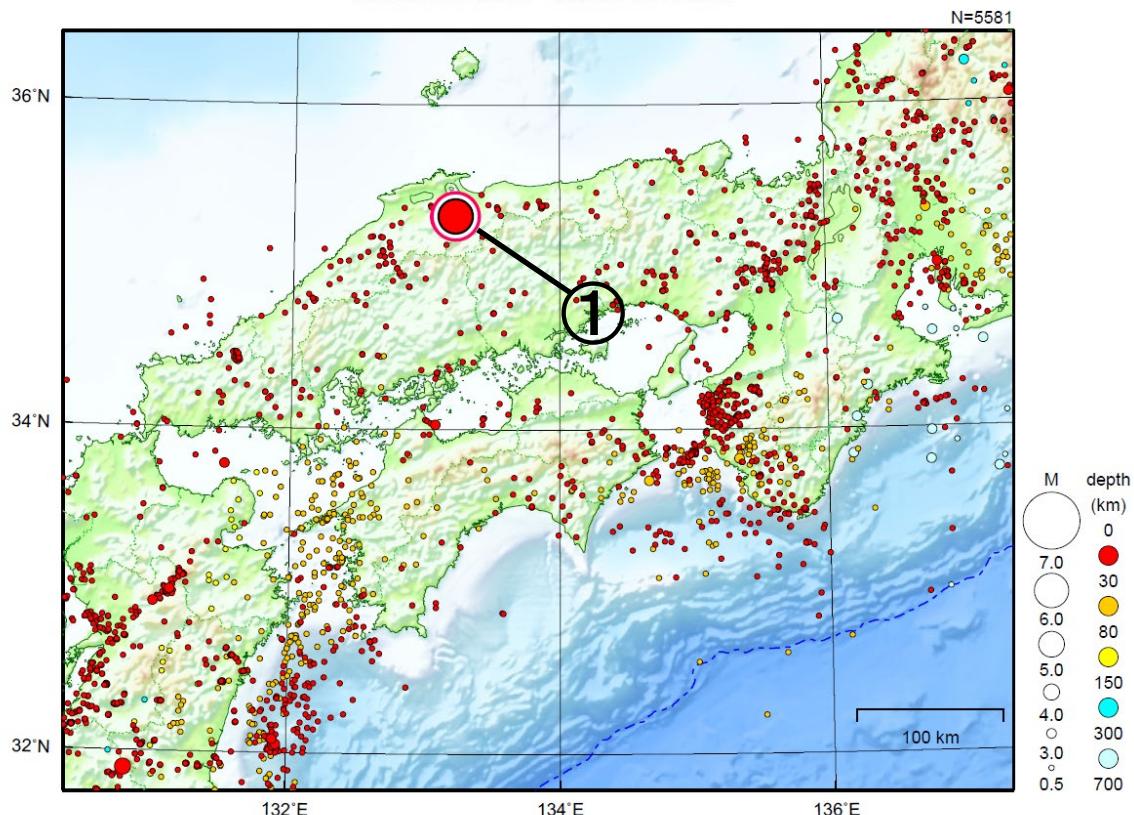


近畿・中国・四国地方

2026/01/01 00:00 ~ 2026/01/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 1月6日に島根県東部でM6.4の地震（最大震度5強）が発生した。島根県東部では1月6日から31日までに震度1以上を観測する地震が58回（震度5強：1回、震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：6回、震度2：16回、震度1：33回）発生した。

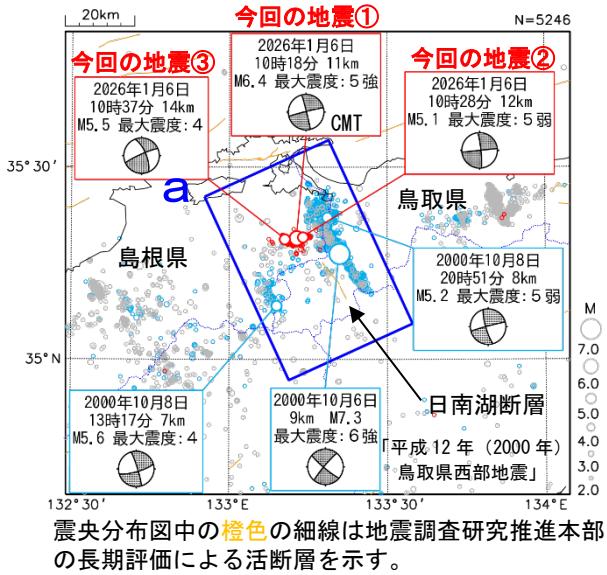
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

1月6日 島根県東部の地震

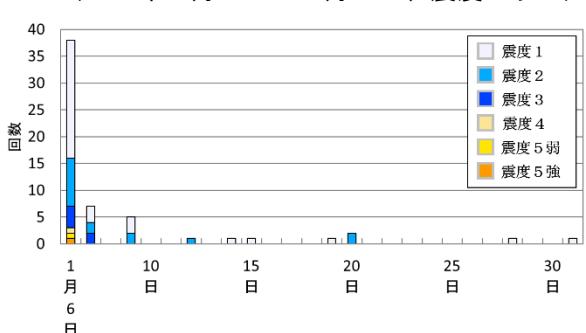
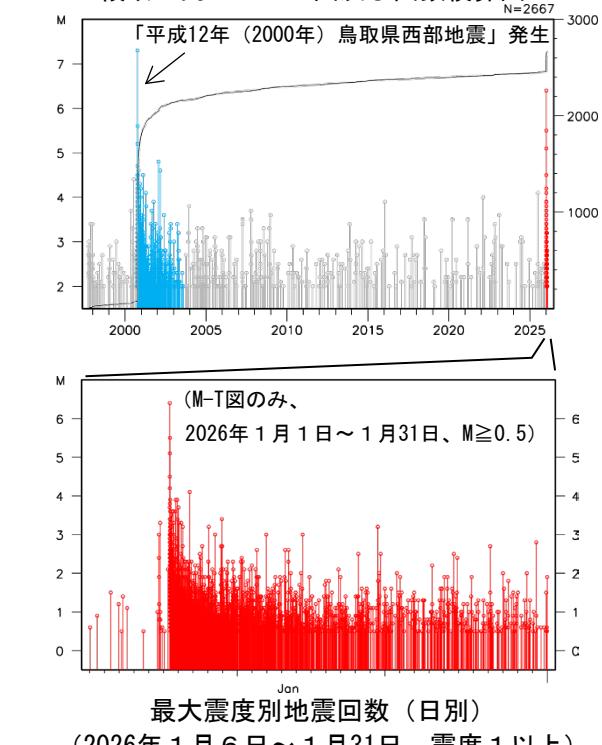
震央分布図

(1997年10月1日～2026年1月31日、
深さ0～30km、M≥2.0)
2000年10月～2003年9月の地震を水色、
2026年1月の地震を赤色、
上記以外の期間の地震を灰色で表示



震央分布図中のオレンジ色の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

領域a内のM-T図及び回数積算図



2026年1月6日10時18分に島根県東部の深さ11kmでM6.4の地震 (最大震度5強、図中①) が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構

(CMT解) は、西北西～東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震の震央付近では、5日16時43分にM3.0の地震 (最大震度1) 及び同日18時42分にM3.3の地震 (最大震度2) が発生した。また、M6.4の地震発生後には、6日10時28分にM5.1の地震 (最大震度5弱、図中②) 及び同日10時37分にM5.5の地震 (最大震度4、図中③) が発生するなど、M5.0を超える地震が発生した。6日から31日までに震度1以上を観測した地震が58回 (震度5強: 1回、震度5弱: 1回、震度4: 1回、震度3: 6回、震度2: 16回、震度1: 33回) 発生した。この地震により、負傷者15人、住家一部破損114棟の被害が生じた (被害は2026年1月14日17時00分現在、総務省消防庁による)。

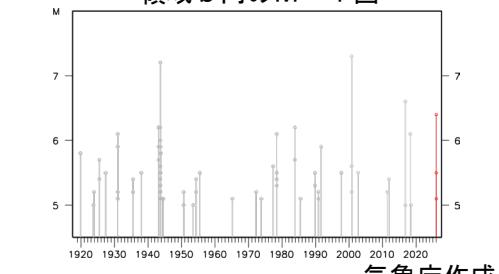
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域a) では、「平成12年(2000年)鳥取県西部地震」が発生している。この地震により、負傷者182人、住家全壊435棟などの被害が生じた (被害は総務省消防庁による)。

1919年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、M6.0程度の地震が時々発生している。このうち、1943年9月10日に発生したM7.2の地震 (鳥取地震、最大震度6) では、死者1,083人、住家全壊7,485棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

震央分布図 (1919年1月1日～2026年1月31日、 深さ0～30km、M≥5.0) 2026年1月の地震を赤色で表示

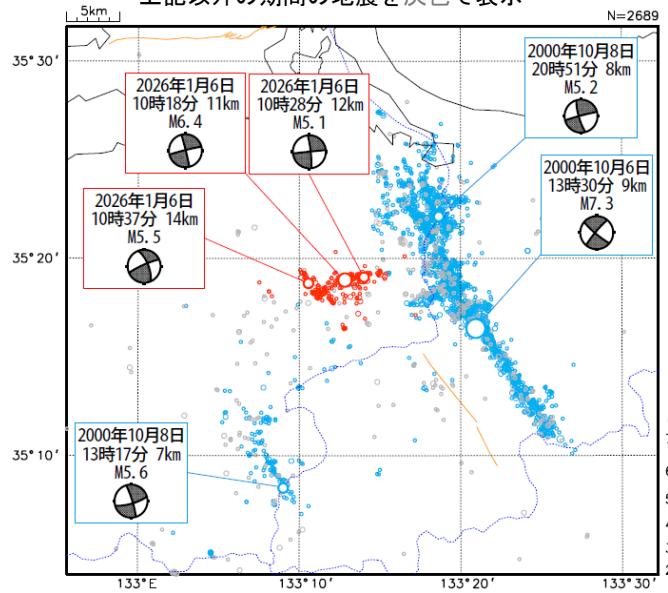


領域b内のM-T図

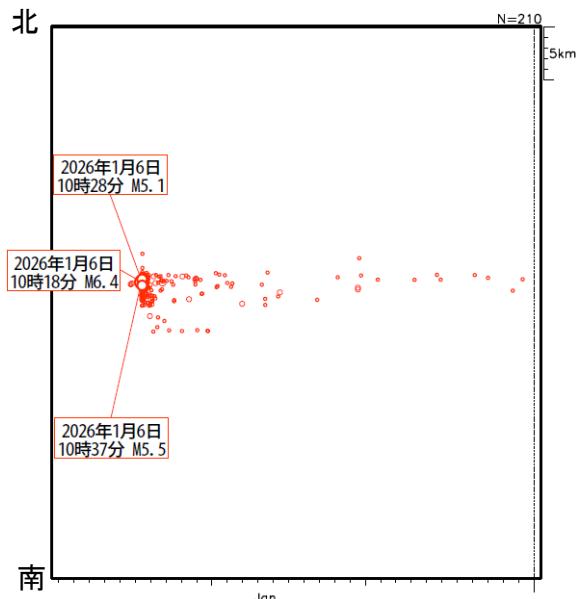


気象庁作成

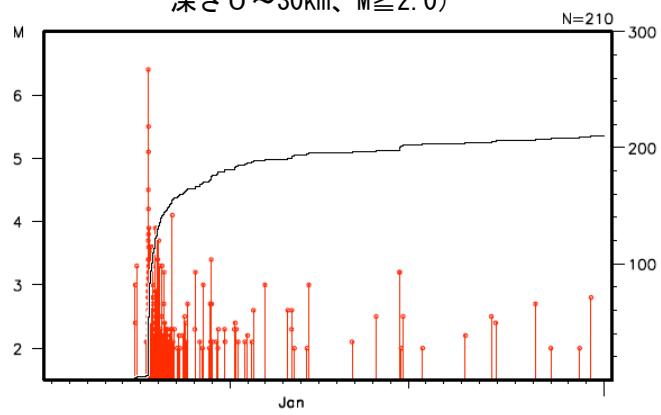
震央分布図（前ページの拡大図）
 (1997年10月1日～2026年1月31日、
 深さ0～30km、M≥2.0)
 2000年10月～2003年9月の地震を水色、
 2026年1月の地震を赤色、
 上記以外の期間の地震を灰色で表示



震央分布図内の時空間分布図（南北投影）
 (2026年1月1日～1月31日、
 深さ0～30km、M≥2.0)



震央分布図内のM-T回数積算図
 (2026年1月1日～1月31日、
 深さ0～30km、M≥2.0)



震央分布図内の時空間分布図（東西投影）
 (2026年1月1日～1月31日、
 深さ0～30km、M≥2.0)

